

テレビスタンド

SU-S28DX/S32DX/S36DX

取扱説明書

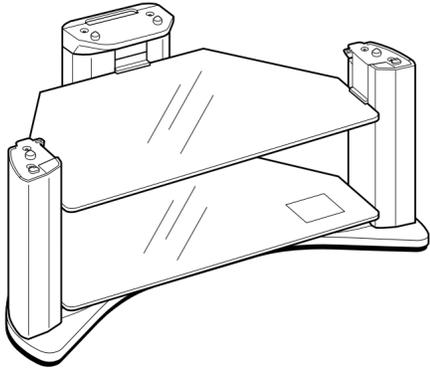
お買い上げいただきありがとうございます。

警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドは、以下のソニーのカラーテレビ専用です。ガラスには、BSデジタルチューナーやビデオデッキなどを設置するよう設計されています。

テレビスタンド	SU-S28DX	SU-S32DX	SU-S36DX
テレビ	KV-28DX750 KV-28DX650 KV-28DX550	KV-32DX850 KV-32DX750 KV-32DX650 KV-32DX550	KV-36DX850 KV-36DX750



Sony Corporation © 2001 Printed in Japan

テレビを設置するときのご注意

テレビの脚をガラスに仮置きしたり、載せたりしないでください。



テレビとテレビスタンドの支柱で、手指などはさみこまないようご注意ください。



ガラスを踏み付けないでください。

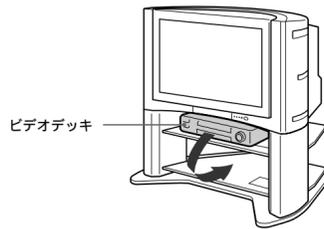


指はさみ注意
指挟み

使用上のご注意

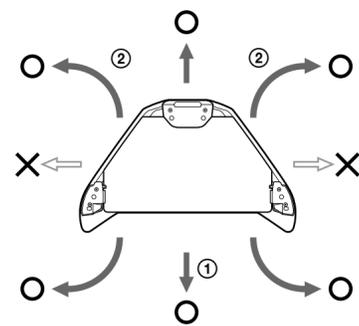
- 組み立てるときや、テレビやビデオ機器などを設置するときに、ガラスに手をつけて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないようご注意ください。
- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはテレビスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない
- 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

テレビスタンドの上段には、ビデオデッキなどを置かないでください。テレビ本体がビデオデッキなどの機器の干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。



テレビスタンドを動かすには

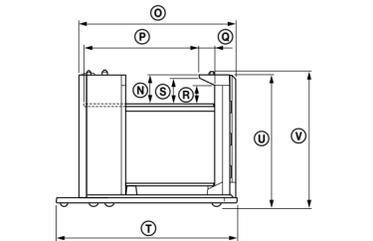
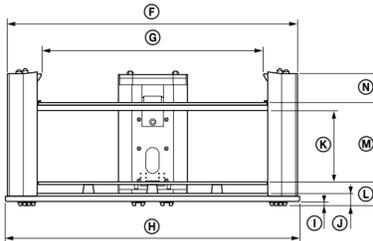
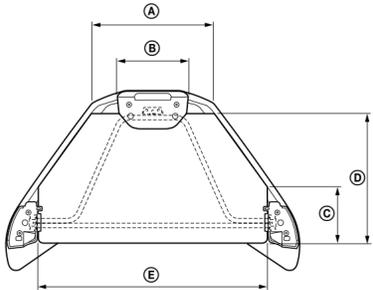
このテレビスタンドは、↑で示した方向に動かせます。左右(×で示した方向)には、動きません。無理に動かそうとすると、ガラスを破損したり、転倒の原因になることがあります。左右に動かしたいときは、いったん前方(①)に引き、斜め後方(②)に戻しながら位置を合わせてください。



- ご注意**
- 支柱部分を持つようにしてください。ガラスの部分を持つたり、無理に動かそうとすると、ガラスを破損したり、転倒し、けがの原因になることがあります。
 - テレビスタンドを床面に段差があるところに動かすときは、いったん固定ベルトをはずしてテレビを降ろしてください。
 - 手足を底板の下にはさんだり、キャスターで踏んだりしないようご注意ください。

主な仕様

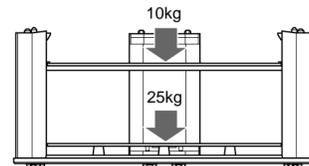
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



	SU-S28DX	SU-S32DX	SU-S36DX
寸法 (cm) A	42.8	40.9	40.8
B		23.2	
C	26.1	22.3	19.2
D		43.7	
E	57.8	67.4	77.0
F	78.6	88.2	97.8
G	56.0	65.6	75.2
H	79.8	89.4	99.0
I		1.2	
J		3.9	
K		24.8	
L		7.5	
M		27.0	
N		10.1	
O	52.7	53.1	53.3
P		38.9	
Q		5.2	
R		6.6	
S		8.9	
T	60.4	60.7	61.0
U		44.6	
V		46.4	
W		46.4	
質量 (kg)	16.5	17.5	18.5

ガラス面の積載量についてのご注意

それぞれのガラスには、図に示す質量以上のものを載せないでください。ガラスを破損するおそれがあります。なお、このテレビスタンドの総積載量は、各サイズのテレビの質量とガラス面に載せる質量の合計になります。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



警告表示の意味
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

テレビスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない
テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。



ガラスの上に乗ったり、ガラスの間に入って遊ばない
お子様がガラスの上に乗ったり、ガラスの間に入って遊んだりすると、ガラスが割れたり、テレビが倒れて、大けがや死亡の原因となります。



テレビや収納機器のコードをはさまないようにする
テレビなどをテレビスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
テレビスタンドを動かすとき、キャスターで電源コードを踏まないようにする。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。

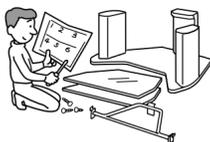


注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定のテレビ機器以外のものを載せない
このテレビスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちて、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。

載せる機器の総質量は、指定の質量を越えないようにする
指定の質量を越えると、ガラスが割れて、テレビなどを壊すおそれがあります。

組み立ては、組み立て手順に従ってしっかり組み立てる
ネジがゆるんでいたり抜けていると、テレビスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。特に上ガラス押さえ金具はガラスの落下防止のため必ず取り付けてください。



テレビを固定する
テレビスタンドに付属の固定ベルトでテレビの転倒を防いでください。テレビを固定しないと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



ガラスに強い衝撃を与えない
テレビスタンドには強化処理および飛散防止フィルムを施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。
物をぶつける、先端のものが物を落とすなど、強い衝撃を与えない。



鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。
デジタルチューナーやビデオデッキなどを設置時にガラスの端面にぶつけない。
掃除機で床面をすべらせて下ガラスの前面に当てない。



踏み台にしない
倒れたり、落ちたり、ガラスが割れたりして、けがの原因となることがあります。



過熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない
ガラスが割れ、けがの原因となることがあります。



ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
●http://www.sony.co.jp/SonyDrive/ お客様相談センター
●ナビダイヤル ☎0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
●携帯電話・PHS 03-5448-3311 (ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
●FAX 0466-31-2595 受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

eco この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

手順1：組み立てに必要な部品を確認する

- 組み立てる前に⓪ドライバーをご用意ください。
- 金属製のフレームやガラスなどを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。

名称	数量	名称	数量	名称	数量
底板	1	前支柱(R)	1式	下ガラス(固定ボタン付き)	1
フレーム	1	前支柱キャップ(R)(1)	1	キャスター	6
		前支柱(R)(1)		上ガラス押さえ金具(クッション付き)	1
前支柱(L)	1式	保護テープ(組み立てが終わるまではがさないでください)	1	ネジ(大) ⓪5x40 mm	12
		後支柱		ネジ(小) ⓪4x16 mm	2
前支柱(L)(1)	1	固定ベルト	1	ワッシャーヘッドネジ ⓪4x16 mm	6
		後支柱キャップ(1)		シール	2
上ガラス	1	後支柱(1)	1		
		後支柱カバー(1)	1		

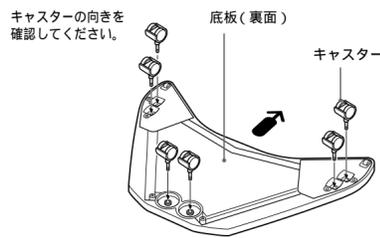
手順2：底板に支柱を取り付ける

← 矢印は正面方向を示します。

1 後支柱のカバーをはずす。



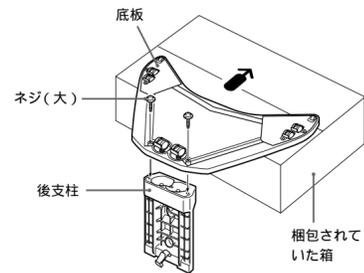
2 底板のキャスター取り付け口に、キャスター(6個)を差し込む。



3 底板に、後支柱をはめ込み、ネジ(大)2本でネジ止めする。

👉 ちょっと一言

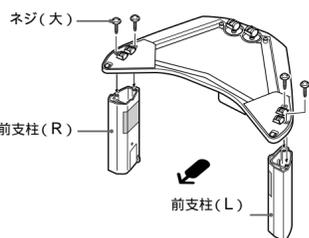
後支柱と前支柱(L)(R)を取り付けるときは、キャスターの見える面を上にし、梱包されていた箱などを利用すると、本機や床面を傷つけず、また安定させた状態で作業することができます。



4 前支柱(L)(R)を底板の突起にはめ込み、それぞれネジ(大)2本でネジ止めする。

👉 ちょっと一言

前支柱はL、Rを1本ずつ、ネジ止めすると作業をしやすいです。



手順3：下ガラスを取り付ける

前支柱(L)(R)のキャップをはずし、下ガラスを底板に載せて固定ボタンで固定する。

1 前支柱(L)(R)のキャップをはずす。

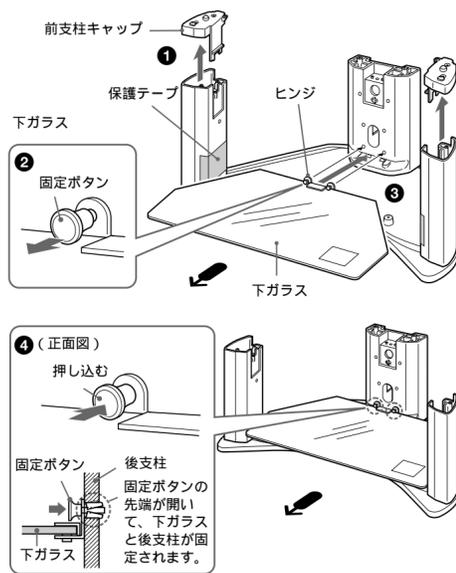
2 下ガラスのヒンジに付いている固定ボタンを手前に引っ張り、固定ボタンが固定されていないことを確認する。

3 下ガラスを底板に載せ、ヒンジの突起を後支柱の穴に差し込み、下ガラスを固定する。

👉 ご注意

- 下ガラスを取り付けるときは、白いフィルムの面が下(注意ラベルの面が上面)になるようにしてください。
- 前支柱に傷がつかないように、保護テープの部分に下ガラスを入れてください。

4 ヒンジの固定ボタン(2個)を押し込んで、下ガラスを後支柱に固定する。



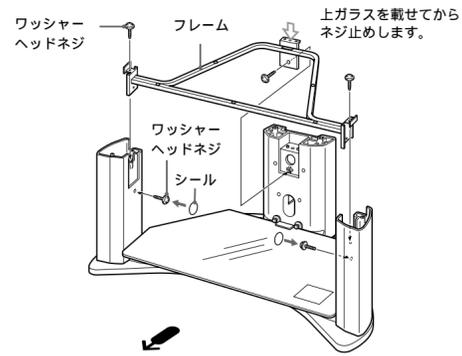
手順4：フレームと上ガラスを取り付ける

1 フレームを取り付ける。

- 1 フレームを、上から後支柱、前支柱(L)(R)に奥まで押し込んで、はめ込む。
- 2 フレームを後支柱に1か所、前支柱(L)(R)に4か所、ワッシャーヘッドネジでそれぞれネジ止める。
- 3 前支柱側面に止めたワッシャーヘッドネジ部をふさぐようにシールを貼る。

👉 ご注意

↓部は、上ガラスを載せてからネジ止めしてください。



2 上ガラスをフレームに載せる。

- 1 上ガラスを後支柱に、すき間なく当てつけてフレームに載せる。

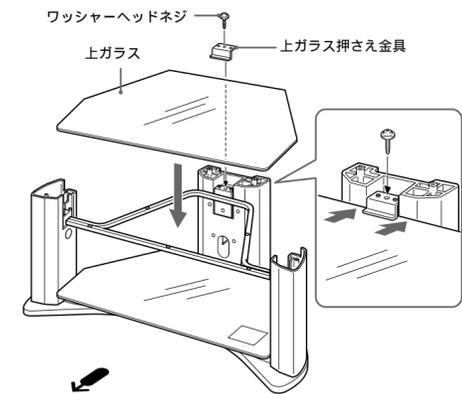
👉 ご注意

- 上ガラスを取り付けるときは、白いフィルムの面が下になるようにしてください。
- 上ガラスは、前支柱に傷がつかないように注意して、フレームに載せてください。

- 2 上ガラス押さえ金具を、後支柱に上ガラスをはさむように載せて、上からワッシャーヘッドネジを止める。

👉 ちょっと一言

上ガラス押さえ金具には、ガラス割れ防止用のクッションが付いています。



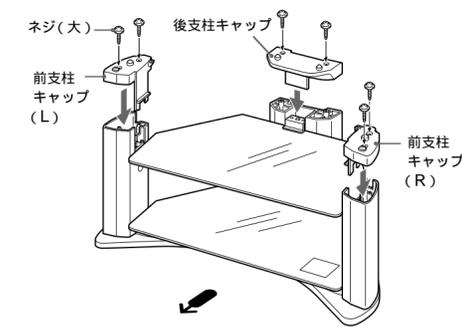
3 後支柱キャップと、前支柱キャップ(L)(R)を取り付ける。

- 1 後支柱キャップ、前支柱キャップ(L)(R)をそれぞれの支柱に上からはめ込む。

👉 ご注意

後支柱キャップをはめ込むときは、付属の固定ベルトをはずさないように注意してください。

- 2 後支柱キャップ、前支柱キャップ(L)(R)をそれぞれの支柱にネジ(大)2本ずつでネジ止める。



手順5：テレビを置く

1 電源コードなどはさまないように注意しながら、テレビをテレビスタンドに置く。

⚠️ 警告

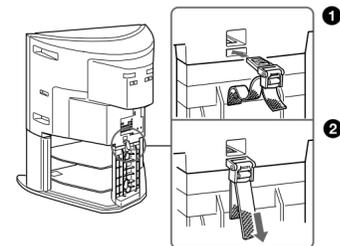
- テレビをテレビスタンドの支柱に載せるとき、手指や足、服をはさまないようにご注意ください。
- テレビをガラス面に、仮置きしないでください。

セットとスタンドの前支柱の前角部を合わせて置く。



2 転倒防止のためのベルトを取り付ける。

- 1 テレビスタンドに付属の固定ベルトのバックルを、テレビの差し込み口にカチッと音がするまで差し込む。
- 2 固定ベルトがゆるまないよう、ベルトを引いて長さを調節する。



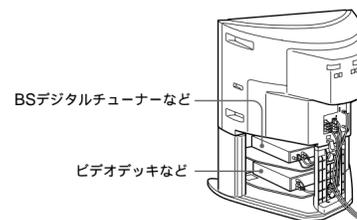
手順6：ビデオ機器などを設置する

ビデオ機器などを設置する。

上段にはBSデジタルチューナーなどを、下段にはビデオデッキなどの機器を設置する。ケーブルは後ろ支柱の穴を通して配線し、テレビと接続する。

👉 ご注意

テレビスタンドの上段には、ビデオデッキなどを置かないでください。テレビ本体がビデオデッキなどの機器の干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。

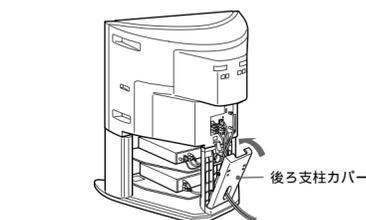


手順7：後支柱カバーを取り付ける

- 1 後支柱カバーの下方を後支柱に差し込んでから、上方をかぶせる。設置した機器の電源ケーブルは後支柱と後支柱カバーの穴から出して処理する。

👉 ご注意

電源ケーブルは、たばねると発熱することがあります。カバー内でたばねないでください。



- 2 後支柱カバーを後支柱に、ネジ(小)2本でネジ止める。

